

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 4 区分
【発行日】 令和 7 年 2 月 7 日 (2025.2.7)

【国際公開番号】 WO2023/233831
【出願番号】 特願 2024-524217 (P2024-524217)

【国際特許分類】

H 0 2 K 11/33(2016.01)

H 0 2 K 7/14(2006.01)

H 0 2 K 7/08(2006.01)

F 0 4 D 29/00(2006.01)

F 0 4 D 29/62(2006.01)

【F I】

H 0 2 K 11/33

H 0 2 K 7/14 A

H 0 2 K 7/08 Z

F 0 4 D 29/00 B

F 0 4 D 29/62 D

10

【手続補正書】

20

【提出日】 令和 6 年 11 月 20 日 (2024.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転シャフトを含むロータと、

前記回転シャフトからみて前記ロータの外に配置されたステータと、

30

前記回転シャフトを回転可能に支持する軸受と、

少なくとも 1 つの電子部品が実装された回路基板と、を備え、

前記ロータは、

前記回転シャフトに連結されたヨークを、更に含み、

前記回転シャフトの中心軸と直交する方向に見たときに、前記ヨークは、前記軸受とオーバーラップし、かつ、前記少なくとも 1 つの電子部品とオーバーラップするように設けられている、

モータ。

【請求項 2】

40

前記ヨークは、

前記回路基板に対向する面を有し、

前記面は、前記少なくとも 1 つの電子部品の一部が差し込まれる凹部を含む、

請求項 1 のモータ。

【請求項 3】

前記凹部は、前記回転シャフトを囲むように設けられた環状の凹部である、

請求項 2 のモータ。

【請求項 4】

前記ヨークは、

前記軸受に対向する面を有し、

前記面は、前記軸受の一部が差し込まれる凹部を含む、

50

請求項 1 のモータ。

【請求項 5】

前記凹部は、前記回転シャフトを囲むように設けられた環状の凹部である、
請求項 4 のモータ。

【請求項 6】

前記ヨークは、
前記回路基板に対向する第 1 面と、
前記第 1 面とは逆を向く第 2 面と、を有し、
前記第 1 面は、前記少なくとも 1 つの電子部品の一部が差し込まれる第 1 凹部を含み、
前記第 2 面は、前記軸受の一部が差し込まれる第 2 凹部を含む、
請求項 1 のモータ。

10

【請求項 7】

前記ヨークは、
前記ヨークのうち前記回転シャフトに近い部分である内側半部と、
前記ヨークのうち前記回転シャフトから離れた部分である外側半部と、を含み、
前記第 1 凹部は、前記外側半部に設けられ、
前記第 2 凹部は、前記内側半部に設けられている、
請求項 6 のモータ。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか一項のモータと、
前記モータの前記回転シャフトに結合された羽根と、を備える、
送風機。

20

【請求項 9】

前記羽根は、
前記回転シャフトに結合された平板状のハブと、
前記ハブに連結された複数の羽根板と、を備える、
請求項 8 の送風機。

【請求項 10】

前記回路基板は、
前記回転シャフトの前記中心軸に沿った方向において、前記ロータと前記羽根との間に
位置する、
請求項 8 の送風機。

30

【請求項 11】

請求項 8 の送風機と、
前記送風機を収容する車体と、を備える、
移動体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0063】

第 2 凹部 236 に差し込まれる第 1 軸受 41 の一部は、第 1 軸受 41 のうち、回路基板
7 に近い部分である。